令和7年(2025)度　こども園施設評価表

おきなわ地球こども園.

ねらい：こども園の役割や社会的責任を遂行するために、法令などを遵守し、こども園を取り巻く社会情勢などを踏まえ、その専門性の向上に努め、こども園として望ましい運営管理をするため、今年度の本園の教育・保育全般を総合的に評価し、次年度の教育・保育計画に生かすため本表を活用する。

A、B、Cの３段階評価記入（A：たいへんよい　B：よい　C：検討・改善を要する）

No.		自己評価の観点・内容				意見・改善策
1	教育保育の理念	こどもの最善の利益を考慮した「教育保育理念」が明文化されている （職員運営方針等、記載され職員研修が行われているか）	A 94%	B 6%	C	・教育理念等、周知されている。日々の保育に取り入れられている。
2		理念に基づく基本方針が明文化されている。 ①こどもの人権の尊重　　②教育・保育方針、教育・保育目標	A 88%	B 12%	C	
3		理念や基本方針が職員、保護者、地域に周知されている。	A 88%	B 12%	C	
4	こどもの発達援助	こどもの福祉を増進することに最もふさわしい生活の場 ①健康・安全で心地よい生活の場でこどもの健康管理を実施している ②乳幼児にふさわしい食生活環境の工夫と食育を展開している ③健診・検査の結果を保護者に報告するとともに保育に反映している	A 94%	B 6%	C	
5		生活と発達の連続性 ①こども観・発達観の理解と共有が図られ発達過程に応じた教育・保育を実施している。 ②障害のあるこどもが安心して生活できる保育環境が整備され、教育・保育の内容や方法に配慮されている。 ③長時間にわたる保育のための環境整備、教育・保育の内容や方法が配慮されている。	A 88%	B 12%	C	・共有は図られている共通理解を深めたい。 ・支援児の情報を全体で共有しかかわり方も統一できるようにされている
6		教育と養護の一体的展開 ①こども園の教育・保育方針や目標に基づき、発達過程を踏まえ、こどもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した全体的教育・保育計画、教育課程を編成している。 ②指導計画を適切に作成し、定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。 ③こどもに関する記録を適切に行い、その管理体制を確立している。 ④一人一人のこどもの状況等に関する情報を職員間で共有化している。 ⑤各年齢の教育・保育において、教育と養護の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、教育・保育の内容や方法に配慮している。 ⑥小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、教育・保育の内容や方法、保護者とのかかわりに配慮している。	A 94%	B 6%	C	・難しく感じることもあったが、職員同士で話し合い解決したり、園長・主幹と見直しをしたりと解決に向けることができる体制がある。
7		環境を通して行う保育 ①生活にふさわしい場として、こどもが心地よく過ごすことのできるような人的・物的環境が整備されている。 ②こどもが基本的な生活習慣を身につけ、積極的に身体的な活動ができるような環境が整備されている。 ③こどもが主体的に活動し、様々な人間関係や友だちとの協同的な体験ができるような人的・物的環境が整備されている。 ④こどもが主体的に身近な自然や社会とかかわれるような人的・物的環境が整備されている。 ⑤こどもが言葉豊かな言語環境に触れたり、様々な表現活動が自由に体験できるような人的・物的環境が整備されている。	A 81%	B 13%	C 6%	・概ね良好、人的環境である保育者の実践的工夫を深め更に良い保育を進めたい。 ・暑さ指数が高く園庭利用がうまく進められなかった。 ・環境について園内研修を通して定期的に見直し話合い改善に務めた。 ・夏場の園庭・第２園庭遊びで、暑さ対策として日よけ屋根等の設置あるとよい。
8	保護者に対する支援	家庭との緊密な連携 ①こどもの成長の喜びを共有する場を設けている。 ②保育内容等の説明・応答責任による、こどもの保育が密接に関連した保護者支援を行っている。 ③こどもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けている。 ④虐待に対応できるこども園内の体制の下、不適切な養育や虐待を受けていると疑われるこどもの早期発見及び虐待の予防に努めている。 ⑤こどもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	A 81%	B 19%	C	・必要に応じて懇談会等積極的に行うことができた。 ・個人面談等、こどもの姿を伝え合い、共通理解が進められた。

No.		自己評価の観点・内容				意見・改善策
9	保護者に対する支援	地域における子育て支援 ①こどもと地域とのかかわりを大切にしている。 ②地域の福祉ニーズを把握している。 ③把握した福祉・子育てニーズに基づいた事業・活動の計画があり、実施されている。 ④有する機能を地域に還元している。 ⑤ こども園の役割や機能を達成するために必要となる、関係機関・団体の機能や連絡方法を体系的に明示し、その情報が職員間で共有されている。 ⑥ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している ⑦関係機関等との連携が適切に行われている。 ⑧ 利用希望者がこども園を選択するために必要な情報を積極的に提供している。 ⑨教育・保育サービスの開始にあたり保護者等に説明し同意を得ている。	A 75%	B 25%	C	・毎年丁寧に行っているが説明側として、保護者へわかりやすく伝えることを意識的に行っていくと更に良い。 ・地域との関わりを大切にし更に福祉・子育てのニーズにこたえられるよう進めたい。
10	保育を支える組織的基盤	健康および安全の実施体制 ①緊急時（事故、感染症の発生時など）における利用者の安全確保のための体制が整備されている。 ②災害時に対する利用者の安全確保のための取組を行っている。 ③こどもの安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。 ④アレルギー疾患、慢性疾患等をもつこどもに対し、主治医からの指示を得て、適切な対応を行っている。 ⑤調理場、水周りなどの衛生管理が適切に実施され、食中毒等の発生時に対応できるような体制が整備されている。	A 94%	B 6%	C	・近年自然災害が増加しているが、緊急時に様々な状況を想定した対応・役割など避難訓練、職員研修等、共通理解ができた。
11		**職員の資質向上** ①教育・保育サービスの質について定期的に評価を行う体制を整備している。 ②保育教諭等が主体的に自己評価に取り組み、保育の改善が図られている。 ③職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。 ④個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて取組が行われている。 ⑤定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。 ⑥実習生の受入れと育成について基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、積極的な取組をしている。	A 81%	B 19%	C	・主体的に自己評価を行っている。 ・日々保育の振り返りをクラス会議等に積極的に取り入れるとさらに良い ・救命講習等を通して緊急時に速やかに対応できる体制の構築ができている。 ・キャリアアップ、外部研修が豊富で学びが深められている。
12		運営の管理・社会的責任 ①質の高い教育・保育を行うためのビジョン（目標や展望）を明確にしている。 ②事業計画は、施設改修、人材育成、子育て支援等、各年度における事業内容が具体的に示されている。 ③事業計画の策定、評価・見直しは組織的に行われている。 ④事業計画が職員、保護者に周知されている。 ⑤保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。 ⑥こども・保護者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。 ⑦苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。 ⑧遵守しなければならない基本的な関連法令について、正しく認識されている。	A 94%	B 6%	C	
総合所見		全年齢、学級経営案を作成しクラス運営を工夫して進められたことは、保育者から「こどもの発達や個々の姿を捉え環境構成や援助を職員間で共有し、保育の質の向上に取り組められた」と評価があった。 今年度は職員配置の関係で、外部での研修受講がうまく進められなかったが、職員主催の園内研修で職員間の理解がさら深まり、新職員との信頼関係等良い影響になったと感じる。 課題となる点は、目の前にあることに集中しすぎて保育者自身が、挑戦する保育の実践が少なかったこと。全員で見直し、次年度は「できる方法を考える保育者」として保育を高めさらに良い園づくりを進めていくことを話し合った。教育保育の質の向上が園児への最善の利益であることを心にとめ進めていく保育者であると感じている。また地域への活動を含めて、職員一人一人が自己の役割を意識し進めていきたいと考える。 安全対策・感染症対策を行う中、園行事・活動の進め方について職員同士の意見交換の深まりから令和７(2025)年度の園運営・クラス運営が良い結果につながったと考える。				